2019 年度　部局 FD 活動報告

工学研研究科

1.　FD 活動の実施体制、取り組みの概要
・工学研究科教育運営委員が主体となり、工学研究科全体の FD 活動を実施している。 ・カリキュラムの改善に関する情報共有を行うとともに、各分野での FD 活動に役立てている。 ・分野単位で授業アンケート、オフィスアワーの設定、ピア授業参観、実験・講義科目別情報交換、教育会議などを定期的に実施し、学習成果についての自己点検・評価と、教育の質の改善・向上に関する取り組みを実施している。

2.　FD に関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
4 月 4 日（木）	新任教員 FD 研修	セミナー・ワークショップ	30 名 （工学 6 名）
6 月 4 日（火）	Moodle 活用講座	セミナー・ワークショップ	19 名 （工学 3 名）
6 月 18 日（火）	Moodle 実践講座	セミナー・ワークショップ	11 名 （工学 1 名）
7 月 5 日（金）	第 1 回「授業デザイン研修 I」	セミナー・ワークショップ	7 名 （工学 2 名）
8 月 1 日（木）	第 1 回　高等教育推進機構 FD セミナー「ICT を活用した能動的学習について」	セミナー・ワークショップ	教員 29 名 （工学 8 名） 職員 1 名 他大学 1 名
8 月 29 日（木）	著作権セミナー「入試問題と著作権」	セミナー・ワークショップ	教員 46 名 （工学 6 名） 職員 12 名
9 月 24 日(火)	第 3 回工学全体 FD セミナー「ルーブリック評価入門」	セミナー・ワークショップ	112 名 工学 104 名
11 月 1 日（金）	第 1 回「授業デザイン研修 II」	セミナー・ワークショップ	7 名 （工学 1 名）
12 月 6 日（金）	第 2 回「授業デザイン研修 I」	セミナー・	4 名

		ワークショップ	（工学 3 名）
12 月 13 日（金）	FD セミナー「発達障がいを抱える学生をどう理解し、どう支援するのか」	セミナー・ワークショップ	24 名 （工学 6 名）
2 月 10 日（月）	AP 総括シンポジウム	セミナー・ワークショップ	13 名 （工学 1 名）
2 月 19 日（水）	第 2 回「授業デザイン研修 II」	セミナー・ワークショップ	1 名

3.　FD に関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
工学研究科教育運営委員会	工学研究科全体の FD 活動の企画、実施および情報交換	10 回	19 名
機械工学　教育点検・生活指導委員会	各科目に対する学生の履修状況等について情報交換し，指導教員に履修指導等に必要な情報を提供した.	10 回	26 名
機械工学　教育評価委員会	大阪市大の教員を外部評価委員に迎え，大学院における教育と研究の実施状況を説明し，意見聴取した.	3 回	14 名
航空宇宙工学 FD 会議	教室会議：12 回	12 回	12 名
海洋システム工学 FD 会議	FD 会議 11 回 外部評価委員会（メール審議）：1 回	12 回	学内 10 名 学外 12 名
電子物理工学 FD 会議	教室会議：11 回	11 回	32 名
電気情報システム工学分野 FD 会議	分野の全教員による教育改革会議 （原則、月 1 回開催）	11 回	16 名
電気情報システム工学分野教育委員会	分野の教育全般	11 回	5 名
情報工学 FD 会議	教室会議	10 回	19 名
応用化学 FD 会議	講義科目関連会議：5 回 教育委員会：1 回 担当者会議：11 回 教室会議：2 回	19 回	30 名
化学工学 FD 会議	教室会議・職員会議：11 回 臨時教室会議：2 回 担当者会議：11 回 カリキュラム委員会：6 回	30 回	15 名

マテリアル工学 FD 会議	担当者会議 3 回・カリキュラム会議 2 回・FD 会議（教室会議）3 回	8 回	18 名
量子放射線工学 FD 会議	分野教員会議、FD 意見交換	10 回	14 名

4.　FD 活動への各教員の参加状況

※　前項のセミナー・委員会等への参加の他、教授会後に実施している勉強会等への出席や、分野内で成績分布について確認・検討する機会を設けている場合なども含みます。

教員数（実数）	192 人　／　193 人中（病気休暇 1 名）

5.　ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期	38	32	航空工学の新任教員が「航空宇宙工学基礎」を参観した。また他分野の教員から航空の授業への参観があった。 電気情報では年度当初にピア授業参観の実施計画を立て、年度末にその結果を報告している。
後期	22	15	
年度 合計	60	47	

6.　その他取り組みの具体的実施状況

・全分野において、FD に関する講演会などを聴講し、分野内の FD 活動に役立てている。

・大学院の講義科目に関して前期・後期に独自のアンケートを実施。

回答数：前期 1505 名（59 科目）、後期 583 名（48 科目）

・航空宇宙工学課程では、編入学試験問題作成委員会を組織し、各年度の試験問題について検討している。

・航空宇宙工学分野では、大学院入試委員会（専門基礎／専門科目作成委員会）を組織し、各年度の大学院入試問題および入試全般に関して検討している。今年度は専門基礎科目で作題ミスがあったため、「入試問題作成体制及びチェック体制」の見直しを行った。

・海洋システム工学分野では，発展する海洋システム工学に対する授業カリキュラムおよび講義名との整合性について検討した．また，大学院への進学率を上げるため，学部教育との連携，就職の斡旋／推薦方法，大学院入試の問題の出題範囲等について検討を行った．

・電子物理工学分野では、全学および工学 FD セミナーの他に、

8/8 令和元年度　大学電気系教員協議会　総会および大学電気工学教育研究集会　出席 1 名

12/23 AO 入試を中心とした多様な入試について　出席 1 名

1/10 2019 年度第 1 回教育の内部質保証に関するセミナー 「ルーブリックの内部質保証への応用～ルーブリックとは？評価方法とは？～」　出席１名

2/26 2019 年度第２回教育の内部質保証に関するセミナー　「ことつくり」の能力をどのように評価するか？　～リーディング大学院（SiMS）での取り組みの一例～　講師担当 1 名

などの活動を行なった。

・電気情報システム工学分野では、各教員のオフィスアワーの周知と共有、およびオフィスアワー来室者数を調査して、学生の指導に役立てている。大学院入試に関して、分野の入試委員会の下に、各入試科目に関する問題作成・点検委員会を設置して、各年度の入試問題の作成点検および入試全般について審議している。

・応用化学分野では、博士前期課程の講義科目「応用化学特論Ⅰ～Ⅲ」に関する情報交換を不定期に実施し、教育の質の改善・向上に関する取組みを実施した。また、大学院入試に関して、専門委員会を組織し、入試問題の作成・点検および入試全般について審議した。全学および工学 FD セミナーの他に、1/19、20「キャリアデザイン研究講演会」などの活動を行った。
・化学工学分野では、4 月にカリキュラムオリエンテーションを開き、学生の履修相談等に積極的に助言を与えている。また、博士前期 1 年次学生の中間報告会の評価項目について事前に学生に配布し、周知した。さらに、研究室での研究に関する取組等を学生に確認し、修士研究の進行度合いについて複数の教員で問題が無いか確認した。大学院の授業の履修状況や問題等があれば、教室会議終了後の職員会議で報告し、対応を協議している。授業アンケート、職員会議、カリキュラム委員会などで挙がった意見や問題を話し合い、教育の質の改善・向上に生かす取組みを続けている。
・量子放射線工学分野では大学院講義に関する FD 活動について教員相互の意見交換、相談等を主に分野教員会議の場にて不定期に行っている。また放射線教育関連の学外催し等の機会を通じて、現役中・高校教師等との教育に関する意見交換、動向調査等を行い、FD 向上へ役立てている。
・量子放射線工学分野では、本学研究推進機構放射線施設や関連するオープンラボ活動に見学に訪れる 100 名を越える高校生や中・高教員から教育の動向を伺い知ることができ、その成果を講演会、出張講義等における教育活動の質的向上に役立てている。